読者ギャラリー

芝浦港南地区の人、暮らしを伝える、とっておきの作品をお送りください。
写真のほかに、俳句や川柳、イラストでも応募できます!
読者の皆さんで「べいあっぷ」を盛り上げてください。力作お待ちしています!



つくしっ子さんの作品
『芝浦にもつくしを見つけた』



港南MOGA子さんの作品『お台場たそがれワンコ』



ジャンボさんの作品『空を自由に飛びたいな』



周 月明さんの作品『スノービーチの決戦』



まりあ月のぱぱさんの作品
『湾岸NEON —静寂の境界線—』



森久保 ゆかりさんの作品『湾岸の夜華』

※応募いただいた作品については港区の事業で無償で使用させていただくことがあります。

次回の締切は 8月11日(火) 必着です。

応募方法

次号は11月中旬発行予定です。芝浦港南地区の作品にタイトルを添えて、住所・氏名・電話番号・作品の返却希望の有無・ペンネーム(希望者)を明記の上、べいあっぷ編集部までお送りください。写真はデータでもプリントでもOK。携帯写真でも大歓迎です。人物が写っているときは、その人の許諾を取った後にご応募ください。

作品の送付先

〒105-8516 ※郵便番号だけで届きます
港区芝浦港南地区総合支所 べいあっぷ編集部
TEL：03-6400-0031　FAX：03-5445-4590
E-mail：sk-kuminnokoe@city.minato.tokyo.jp

べいあっぷ 編集部では全員がボランティアで参加する区民編集委員と芝浦港南地区総合支所のスタッフが協働して、企画・編集しています。より良い誌面を作るため、地域の皆さまのご意見・ご要望をお待ちしております(送り先は下記へ)。

港区芝浦港南地区総合支所 べいあっぷ編集部
〒105-8516 港区芝浦1-16-1
TEL：03-6400-0031　FAX：03-5445-4590
E-mail：sk-kuminnokoe@city.minato.tokyo.jp

※この情報紙にお寄せいただいた住所・氏名・電話番号などの個人情報は、作品の返送および事務連絡に利用します。また、取扱いについては個人情報の保護に関する法律に基づき、適正に管理します。

編集後記

創刊20周年を迎えた「べいあっぷ」は、今年度、新たに4名の編集委員を迎え、19名体制でスタートしました。この20年の間に、芝浦・海岸・港南・台場のまちは大きく姿を変えてきました。一方で、運河や水辺の風景、人と人とのつながりなど、この地域ならではの魅力は今も変わらず息づいています。
私たちは取材を通じて、改めてこのまちの魅力を実感しています。見慣れた景色でも、歩くたびに違った表情を見せ、新たな発見があります。これからも地域に寄り添いながら、編集委員それぞれの目線で、身近な情報や「ちょっと気になる」まちの話題、そしてこの地域ならではの魅力を皆さまにお届けしていきます。
廣田 幸子

べいあっぷ編集部
梅村 隆／大波 佳恵／大橋 直／岡田 美紀子
小坂 靖浩／斎藤 まさのぶ／佐藤 啓／須古 邦子
塚本 みか／中川 清光／高木 美世／林 淳一
林 哲平／廣田 幸子／M.H.／山口 ゆかり
横山 仁／MESLER JONATHAN

本誌のバックナンバーは港区ホームページで閲覧することができます。

暮らしの疑問、まとめて「みなとコール」でお答えします。
午前8時～午後8時
FAX：03-5777-8752
港区コールセンター みなとコール
ゴヨウ(は)ナーニ ミナト(コールです)
03-5472-3710

本誌は環境に配慮して「のりとじ」にしています。
発行番号 2026052-2435

芝浦港南地区情報誌
［芝浦、海岸2・3丁目、港南、台場］

べいあっぷ

第75号
令和8(2026)年7月

人と人、町と町をつなぐ —ふれあい情報誌—



2026年度編集委員が選ぶ 私のとっておきの場所 …… 2
連載 編集委員が選んだ おすすめグルメスポット VOL.6 …… 5
連載 べいあっぷ編集委員がおすすめする 地域のスポット 第32回 …… 6
芝浦港南地区総合支所からのお知らせ／都税のお知らせ／高輪警察署… 8
連載 芝浦港南地区の公園シリーズ【第14回】…… 10
港区ベイエリア イベントカレンダー …… 11
読者ギャラリー・編集後記 …… 12

港区 80周年 MINATO CITY

◆次号(第76号)は令和8(2026)年11月中旬発行予定

区立埠頭公園

2026年度
編集委員が選ぶ

私のとっておきの場所

身近にある運河の風景

（編集委員 K･N）

芝浦･港南エリアには、暮らしのすぐそばに運河の景色が広がっています。

高浜運河は港南一丁目から四丁目にかけて続き、楽水橋から浜路橋までの間では、ゆりかもめやカワウやサギの姿を見かけることも多く、魚が水面を跳ねる光景に出会えることもあります。

新芝運河は、高輪ゲートウェイ駅東側から田町駅東口まで、遊歩道が続いているので、どちらかの駅を利用されている方は、ひと駅手前から歩くのにもぴったりです。

芝浦西運河沿緑地では、水辺の静けさの中に季節を感じられ、時には小さなカニに出会うことも。散歩やランニングの途中に、身近な自然を感じられる水辺です。



新芝運河



芝浦西運河沿緑地



高浜運河

リニア中央新幹線の始発駅となる品川駅

（編集委員 T･U）



整備の進む大規模な鉄橋

かつて品川の玄関口であった高輪口（西口）は駅舎を含め、比較的古い建物が残る地域です。また、JR在来線･東海道新幹線の線路が地平にあることに対し、品川駅に乗り入れている京急線の線路が高架2階の位置にあり、再開発の懸念となっておりました。

この現状を変えるため、リニア中央新幹線の始発駅ともなる品川駅で大規模な再開発が始まりました。東京メトロ南北線の延伸、高輪ゲートウェイ駅周辺と一体となった整備が進められています。

京急電鉄はJRとの乗換しやすくするため、線路の地平化を行います。そのため、地域の交通のネックとなっている踏切の解消と従来からのJR線との立体交差を合わせた大規模な鉄橋を設置することとなっています。

また、東西自由通路をそのまま延ばし、国道15号（第一京浜）をオーバーパスする歩行者用通路を建設することとなっています。

品川駅高輪口には、港南口（東口）のような歩行者専用の広場が存在しません。周辺の大規模再開発やまちづくりが進み、品川駅に新たな広場ができることによって、待ち合わせなどにおいて、駅利用者にとって重要なスペースとなることでしょう。



品川駅港南口（東口）



JR線や京急線が交差する様子

港区民になったと実感できる場所

（編集委員 M･T）

浜路橋は、私にとって「港区民になった」と実感した象徴のような橋です。白いヨットを思わせるデザインが運河沿いの景色に映え、芝浦らしい開放感を感じさせてくれます。近くには新幹線の回送線があり、列車が静かに行き交う風景からは、都市の躍動感と未来へ向かうエネルギーが伝わってきます。

昨年芝浦に移り住み、この橋を眺めるたび、「このまちで新しい時間が始まった」と前向きな気持ちになります。高層マンション群と水辺、鉄道の風景が調和するこの場所には、港区ならではの洗練と力強さがあり、今では私の暮らしを支える大切な景色になっています。



浜路橋と新幹線回送線

私のまちの「居場所」がここにある

SHIBAURA HOUSE
「Cafe TULIP」

（編集委員 K･O）



SHIBAURA HOUSE全景

芝浦三丁目の旧海岸通り沿いに突然現れる全面ガラス張りの建物、それが「SHIBAURA HOUSE」。世界的に有名な建築家･妹島和世氏が手がけたこの空間の1階に「Cafe TULIP」がある。

天井が高く、外の光がやわらかく差し込む広々とした店内。ここでは、飲食の有無を問われず、ただそこに居ることを許される。会議をしている外国人の横で泣いている赤ちゃんがいたり、各々がただそこに居る。それがなぜか開放的で自由でとても居心地が良いのだ。「まちの室内公園」や「帰れる居場所」を目指しているというスタッフの言葉が数回通うことでやっと理解ができる。1回きりでは分からない。どうか数回通って観察してみてほしい。ここはあなたの居場所になる空間だ。

コーヒーはSDGsや環境への配慮がなされているところから仕入れている。力を入れているという朝ごはんにも、牛乳からチーズをつくる過程で生じる副産物「ホエイ（乳清）」を仕込み水として活用した「ホエイパン」を採用。「地球に優しく」という「SHIBAURA HOUSE」の姿勢がカフェのメニューにもにじみ出る。

毎週月曜日の夕方には、子ども食堂「月のキッチン」を開催。子どものためだけでなく保護者同士のコミュニティースペースとしても機能している。

芝浦に住んで1年。葛飾の下町生まれの私がこのまちでどことなく懐かしさを感じることが多くなっている。



Cafe TULIPの様子

SHIBAURA HOUSE
ホームページ

2026年度
編集委員が選ぶ
私のとっておきの場所

懐かしさを感じながら散策を楽しむ

（編集委員 Y･K）

緑色の桜の花が咲くめずらしい「御衣黄桜（ぎょいこうざくら）」が、竹芝橋のそばにあります。

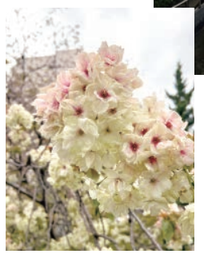
かつてこの付近には、かの「ジュリアナ東京」があり、ジュリ扇（せん）※が舞っていました。そして、昔の派手な刑事ドラマでは、カーチェイスなどのロケが行われていて、なんと車でジャンプして運河を越えていました。

かつてあった出来事を思いながら散策して楽しんでいます。

※「ジュリアナ東京」で使われていた扇子のこと



竹芝橋


御衣黄桜


黄色の水上タクシーが走る運河のあたりを車で越えていました


かつて「ジュリ扇」が舞っていたジュリアナ東京跡

季節ごとに表情を変える芝浦中央公園運動場

（編集委員 K･S）

私のおすすめスポットは、芝浦中央公園運動場。旧海岸通り沿いの東京都下水道局芝浦水再生センターの東側の敷地の上にテニスコート4面、壁打ちテニスコート2面、フットサルコート1面を備えた港区立の運動施設です。まわりはタワーマンションばかりですが、この運動場には四季折々の花が整備され、特に春には、ツツジ、バラが出迎えてくれる憩いの場所です。また進化を続ける高輪ゲートウェイシティのビル群を望みながらテニスができるのもこの地ならではの楽しみです。





これからの時期、テニスをしない人も、散歩がてら夕涼みに行かれるのもおすすめですが、お天気がよければビル群に沈むサンセットに出会えるかもしれませんよ。



編集委員が選んだ
おすすめグルメスポット【VOL.6】

港区の商店街に加入している
飲食店の中から、
編集委員が選んだお店を紹介!

「芝浦アイランドといえば運河!そんな運河を眺めながら食事ができたらいいな」
そんな願いを叶えてくれるのが、芝浦アイランドの運河沿いにたたずむ「BAGUS BAR芝浦アイランド」です。
今回は、副店長の小山博基さんに、お店の魅力をたっぷり伺ってきました!

運河に開かれた　BAGUS BAR 芝浦アイランド（バグースバー）

●“最高”の時間を過ごせる場所

「BAGUS」とは、インドネシア語で「最高」という意味。社長さんが元バーテンダーだったこともあり、“最高のバー”という想いを込めて「BAGUS BAR」と名付けられたそうです。

お店に入ってまず目を引くのが、開放感あふれるテラス席。こちらはワンちゃん連れも大歓迎。道路とは反対側、運河に囲まれた立地だからこそ味わえる非日常感も、このお店ならではの魅力です。


芝浦アイランドの遊歩道とも一体となったオープンな空間になっています

●毎日通いたくなるランチメニュー

平日のランチタイムには週替わりメニューが登場。サラダ、ご飯もの、パスタ、肉料理など、幅広いラインナップがそろっています。

そんな週替わりランチの中で、唯一ずっと変わらない人気メニューが「牛肉100%ハンバーグ」。なんと、静岡の某有名レストランと同じお肉を使用しているそうで、こだわりのミディアムレアで味わえます。

また、グランドメニューの中でも特に人気なのが、10年以上提供され続けている「コウイカ、アンチョビ、キャベツ、グラナチーズのペペロンチーノ」。長年通う常連さんからも愛されている、“BAGUS BARに欠かせない一皿”となっています。


ノンアルコールカクテルも充実


デザートはガトーショコラが人気。ほかにも週替わりで数種類のケーキがショーケースに並びます

●実はカフェ利用もおすすめ

カフェとして利用できるのも、このお店の隠れた魅力のひとつ。ランチとディナーの間も営業しているため、午後のカフェタイムにも気軽に立ち寄れます。ケーキなどのデザートメニューも充実しており、常時4種類に加え、期間限定ケーキも2種類ほどが並ぶそうです。

●誰でも楽しめる豊富なドリンク

取材中に驚いたのが、ドリンクメニューの豊富さ。見た目も華やかなノンアルコールカクテルをはじめ、コーヒー、紅茶、ジュース、そしてもちろんアルコール類まで、幅広くそろっています。

運河沿いならではの非日常感と、開放感にあふれた空間が魅力のBAGUS BAR。あなたの“行きつけ”に加えてみませんか?


スタッフの皆さん。左端が副店長の小山さん

BAGUS BAR
ホームページ


ランチの定番メニューは牛肉100%のハンバーグ


グランドメニューの一番人気となっているペペロンチーノ



港区芝浦 4-22-2
芝浦アイランドエアテラス1階
☎03-3455-4700
営業時間（年中無休）
LUNCH
11:30～14:00
CAFÉ
14:00～17:00
RESTAURANT & BAR
17:00～23:00

べいあっぷ編集委員が
おすすめする

地域のスポット

連載◆第32回

水辺の散歩道　芝浦アイランド



▲芝浦アイランドの対岸にある芝浦西運河沿緑地からは、芝浦アイランドと停泊中の船がよく見えます

From the green space along the Shibaura West Canal opposite Shibaura Island, you can enjoy a clear view of Shibaura Island and the ships anchored there.

水辺の散歩道として、今回は芝浦四丁目にある芝浦アイランドの遊歩道を紹介します。

●”島びらき”から約20年

田町駅からレインボーブリッジ方面に8分ほど歩くと、高層マンション群が見えてきます。そこが運河に囲まれたまち”芝浦アイランド”です。

明治末期から大正時代に埋め立てられたのが芝浦地区の始まりで、現在の島の形はその頃にできました。その後は都電の操車場や製糖工場が中心となる工場地帯となっていましたが、再開発によって、平成19(2007)年、現在の高層マンション4棟に約1万人が住むまちに生まれ変わりました。スーパーマーケット、クリニック、公園、児童高齢者交流プラザなどの施設が充実し、暮らしやすいエリアとなっています。

さらに、豊かな水辺と緑に恵まれていることから、人と自然が共生するまちづくりにも力が注がれています。

●人と自然が共生するまち

芝浦アイランドの遊歩道の一番の魅力は、水辺沿いにぐるりと一周していることです。レンガ造りの遊歩道は約1.3kmあり、水辺を眺めて座れるベンチも多く、ゆったりと散歩ができます。

島一周の散歩は、実に変化に富んでいます。停泊する船に水辺らしさを感じながら歩いていくと、モノレールが突如頭上や目の前を通過するのに驚いたり、新幹線も見えてきます。船着場が多いこと、運河を通る船に出会うことも水辺ならではの特徴です。

水面を眺めていると、カルガモや魚に遭遇することも。多彩な花木たちの季節の移り変わりも楽しく、春はあちらこちらで桜が咲いています。夏はセミの大合唱がにぎやか。木陰で涼んでひと休みする時、豊かな緑が”島”の魅力であることをいっそう感じます。

住人はもちろん、近隣の皆さんにも親しまれ、ランニングやウォーキング、犬の散歩を楽しむ人たちが早朝から行き交います。潮風と自然を身近に感じられるこの遊歩道は、筆者もお気に入りの散歩コースです。

リラックスしたい気分の時には、芝浦アイランドののどかな遊歩道はおすすめです。ぜひ一度お立ち寄りください♪

As part of our series on waterfront walking paths, this time we introduce the Shibaura Island promenade in Shibaura 4-chome.

●About 20 Years Since the “Island Opening”

Walk about eight minutes from Tamachi Station toward Rainbow Bridge and you’ll see a cluster of high-rise apartment buildings. This is “Shibaura Island,” a neighborhood surrounded by canals.

The Shibaura district was formed by land reclamation projects from the late Meiji period through the Taisho era, creating the island’s present shape. Thereafter, it became an industrial zone centered around a streetcar depot and a sugar refinery. Through redevelopment, however, it was transformed in 2007 (Heisei 19) into a residential community where approximately 10,000 people live in four high-rise apartment buildings. With a wide range of facilities including supermarkets, clinics, parks, and a community center for children and seniors, it has become a highly livable area.

What’s more, the area is blessed with abundant waterfront scenery and greenery, and is home to a community dedicated to creating a town where people and nature can coexist.

●A Town Where People and Nature Coexist

The greatest appeal of the Shibaura Island promenade is that it forms a complete loop around the waterfront. The brick-paved promenade stretches for about 1.3 km and features many benches where you can sit and enjoy the view of the water, making it perfect for a leisurely stroll.

A walk around the island offers ever-changing scenery. As you take in the waterfront atmosphere from the moored boats, you might be surprised to see a monorail suddenly pass overhead—or even right in front of you—and you might even catch a glimpse of the Shinkansen. The abundance of boat landings and the opportunity to encounter boats passing through the canal are unique features of this waterfront setting.

Gazing out over the water, you might spot some mallards or fish. The changing seasons are marked by a variety of delightful flowering trees and shrubs. In spring, cherry blossoms bloom all around you. In summer, the chorus of cicadas fills the air. Take a break to cool off in the shade of the trees, and really experience how the lush greenery makes this “island” so charming.

Beloved not only by residents but also by people from surrounding neighborhoods, the promenade is bustling from early morning with people out running, strolling, or walking their dogs. This promenade, where you can feel the sea breeze and nature up close, is also a personal favorite of the author.

If you’re in the mood to relax, the peaceful promenade at Shibaura Island is highly recommended. Be sure to stop by sometime♪





▲芝浦アイランドは夜景もおすすめ。夕凪橋から見た渚橋のライトアップです。芝浦アイランド周辺では、汐彩橋、港栄橋、プラタナス公園もライトアップしています

Shibaura Island is highly recommended for its night views. Shown here is the illuminated Nagisa Bridge as seen from Yunagi Bridge. In the Shibaura Island area, Shiosai Bridge, Koei Bridge, and Platanus Park are also lit up.

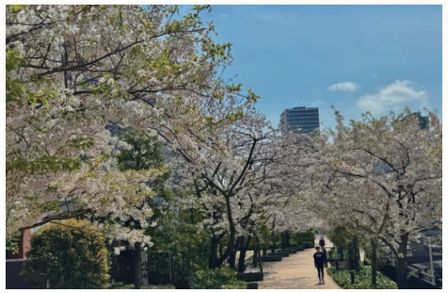


▲芝浦アイランド南端からの眺め
品川と高輪ゲートウェイのビル群を背景に、モノレールや新幹線の走る姿が見えます

View from the Southern Tip of Shibaura Island : Watch the monorail and Shinkansen trains pass by against a backdrop of the Shinagawa and Takanawa Gateway skyline.

■カニ護岸
カニなどの水生生物が生息するためにつくられた“潮だまり”のある護岸です

Crab Seawall : This seawall features “tidal pools” created to provide a habitat for crabs and other aquatic organisms.



▶サクラ広場
遊歩道のあちらこちらに桜など様々な花木があります

Sakura Plaza : A variety of flowering trees, including cherry trees, line the promenade.



▲カルガモの人工巣
渚橋のたもとに、カルガモが産卵・ふ化できるように、芝浦港南地区総合支所協働推進課が管理している人工巣があります。令和8(2026)年3月に2基が新設されました

Man-made Nests for Mallards : At the foot of Nagisa Bridge are artificial nests maintained by the Collaboration Promotion Division of the Shibaura-konan Regional City Office, designed to enable mallards to lay and hatch their eggs. Two new nests were installed in March 2026 (Reiwa 8).



▲船路橋
都電が車両工場へ入出庫するために昭和28(1953)年につくられましたが、芝浦アイランドの開発とともに、平成19(2007)年に歩行者専用の橋として生まれ変わりました。橋の中央には線路のイメージが施され、都電が活躍していた頃の数少ない痕跡となっています

Funaji Bridge : This bridge was constructed in 1953 (Showa 28) to allow Tokyo streetcars to enter and exit the vehicle depot. With the development of Shibaura Island, it was rebuilt in 2007 (Heisei 19) as a pedestrian-only bridge. A pattern evoking railway tracks has been incorporated into the center of the bridge, and it remains one of the few traces of the era when Tokyo streetcars were in operation.



▶プラタナス公園
公園のシンボルは、樹齢約100年の大きなプラタナス。テントが立ち並ぶマルシェ、芝浦アイランド島まつりなど、イベントが開催される時には多くの人でにぎわいます

Platanus Park : A plane tree approximately 100 years old serves as the park’s symbol. The park bustles with people especially during events like outdoor markets with their rows of tents and the Shibaura Island Festival.



◀三井製糖工場跡地のプレート
芝浦アイランド南端の電灯の台座にこのプレートがあります。昭和27(1952)年～平成14(2002)年に、三井製糖株式会社の工場のひとつが現在のケープタワー周辺にあった軌跡です

Plaque Marking the Former Mitsui Sugar Factory Site : This plaque is mounted on a streetlight base at the southern tip of Shibaura Island. It marks the site where one of Mitsui Sugar Co., Ltd.’s factories stood from 1952 to 2002 (Showa 27 to Heisei 14), in the area around what is now Cape Tower.



▶芝浦運河側
芝浦運河沿いの遊歩道は緑豊かで癒されます。ベンチがたくさんあるので、休憩しながらお散歩を楽しみましょう♪

Shibaura Canal : The promenade along the Shibaura Canal is lush with greenery and a soothing place to relax. There are plenty of benches, so enjoy a leisurely stroll and take a break along the way♪

芝浦港南地区総合支所からの お知らせ

Information

総合支所 第20回水辺フェスタ ～地域対抗ボートレース大会&ステージイベント～開催！！

第20回水辺フェスタを、令和8(2026)年9月13日(日)に開催します。
今年は、区政80周年、水辺フェスタ20回記念大会という節目の年であるため、区内全地域から参加者を募った記念レースを実施します。地域の代表が参加するボートレースを応援で盛り上げましょう。そのほかにも、記念大会にふさわしい見どころ満載のイベントになっており、ステージイベントや小さなお子さまも楽しめる砂場遊びコーナーなども開催します。皆さまのご来場をぜひお待ちしております。


第19回水辺フェスタの様子

●**開催日時**　令和8(2026)年9月13日(日) 10:45～16:00
●**開催場所**　都立お台場海浜公園(台場1-4)
●**注意事項**　小雨決行(荒天の場合は中止)
※ボートレースおよびステージイベント参加者の募集はすでに終了しております。

▶**問合せ**
芝浦港南地区総合支所
協働推進課 地区政策担当
☎03-6400-0013

総合支所 今の備えが明日の命を守る「港区総合防災訓練」開催





芝浦港南地区では、地域の防災力向上のため、今年も「港区総合防災訓練」を開催します。初期消火や応急救護、負傷者搬送などの体験型訓練のほか、在宅避難のための防災用品の展示や炊き出し訓練も行います。子どもから大人まで、みんなで学べる、地域の防災訓練です。ぜひお近くの会場へお越しください。



《 開催日時 》
●芝浦会場(芝浦小学校)　令和8(2026)年10月17日(土) 9:30～11:30
●港南会場(港南中学校ほか)　令和8(2026)年10月31日(土) 9:30～11:30
●台場会場(お台場学園)　令和8(2026)年11月 7 日(土) 9:30～11:30

《 開催内容 》
●最新技術で防災を学ぶ！ AR･VR体験
●地震の揺れをリアルに体験！ 起震車体験
●災害時の食を体験！ 炊き出し･配給訓練
●消火器を使ってみよう！ 初期消火訓練
●防災について知ろう！ 防災関係機関PRブース など

▶**問合せ**
芝浦港南地区総合支所
協働推進課 協働推進係
☎03-6400-0031

都税のお知らせ

固定資産税･都市計画税の現所有者申告制度について(23区内)

現所有者申告制度は、土地･家屋の所有者が亡くなられた場合、3か月以内に、相続人など新たに所有者(現所有者)となった方から、ご自身が現所有者であることを申告していただく制度です。
制度の詳細は、東京都主税局ホームページまたは下記の問合せ先へ。
また、土地･家屋の所有者が亡くなられた場合は、早めの相続登記をご検討ください。

▶**問合せ**　港区にある物件について
港都税事務所 ☎03-5549-3800(代表)

令和8年度の固定資産税･都市計画税の軽減措置の継続についてお知らせします(23区内)

①商業地等に対する固定資産税･都市計画税の負担水準の上限引下げ減額措置、②小規模**非住宅用地**に対する固定資産税･都市計画税の減免措置、③小規模住宅用地に対する都市計画税の軽減措置、④耐震化のための建替え又は改修を行った住宅に対する固定資産税･都市計画税の減免措置、⑤不燃化特区内における建替え又は老朽住宅等除却土地に対する固定資産税･都市計画税の減免措置については、令和8年度も継続します(④⑤については適用期限を令和12年度末まで延長)。
詳細は、東京都主税局ホームページまたは下記の問合せ先へ



▶**問合せ**　港区に所在する土地･家屋について
港都税事務所 ☎03-5549-3804 (固定資産税班)

不動産登記申請時には課税明細書がご利用いただけます

不動産登記の申請を行う際には、登録免許税の算定のため、固定資産の価格を記載する必要があります。その価格は、6月に「固定資産税･都市計画税納税通知書」と一緒にお送りする、課税明細書でご確認いただけますので、有料の評価証明は原則不要です。
詳しくは東京都主税局ホームページをご覧ください。

主税局ホームページ

総合支所 防災の日と防災週間にあわせて防災展を実施します！

■防災の日と防災週間

9月1日は「防災の日」です。この日は、大正12(1923)年9月1日に発生した関東大震災、昭和34(1958)年9月に襲来した伊勢湾台風などをきっかけとして、昭和35(1959)年の閣議によって定められました。
また、昭和57(1982)年には、全国的な防災普及行事の展開のために防災週間を設置することが、昭和58(1983)年には、防災週間を8月30日から9月5日までとすることが、それぞれ閣議によって定められました。


様々な防災グッズの展示

■防災展




携帯トイレの使用方法の紹介

港区を含む首都圏では、東海地震や南関東直下型地震などの切迫性が指摘され、いつ大地震が起きても不思議ではない状況といわれています。日ごろから、災害に対する備えを十分にすることが必要です。
防災について考えるきっかけとして、防災の日と防災週間にあわせて行われる防災展にぜひお越しください。


各種非常食の展示

●**開催日時**
令和8(2026)年8月31日(月)～9月4日(金)10:00～17:00
●**開催場所**
みなとパーク芝浦 1階アトリウム(港区芝浦1-16-1)

▶**問合せ**
芝浦港南地区総合支所
協働推進課 協働推進係
☎03-6400-0031

総合支所 避難所開設マニュアルを見直し 防災啓発パンフレットを作成しました

芝浦港南地区では、「芝浦海岸地区防災協議会」「港南防災ネットワーク」「お台場地区防災協議会」がそれぞれ活動しています。令和7(2025)年度には、各防災協議会管内の避難所開設マニュアルの見直しを行いました。あわせて、災害時に落ち着いて行動できるよう、日頃の備えや在宅避難のポイント、地域の防災情報をまとめたパンフレットを作成しました。港区ホームページに掲載していますので、ぜひ一度ご覧ください。

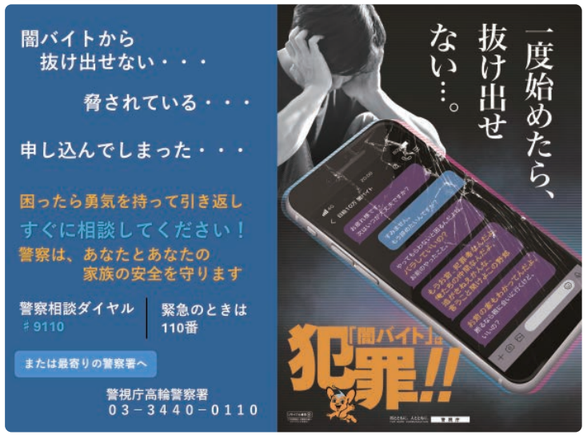
港区ホームページ
(芝浦港南地区防災啓発パンフレット)



地震や災害はいつ起きるかわかりません。
また、芝浦港南の地域防災協議会では、避難所運営や訓練などを担うスタッフを募集しています。いざという時に支え合うまちづくりに参加しませんか。
詳しくは問合せ先までご連絡ください。

▶**問合せ**
芝浦港南地区総合支所
協働推進課 協働推進係
☎03-6400-0031

高輪警察署



遊具や遊び場、施設など、個性あふれる

連載

芝浦港南地区の公園シリーズ

［第14回］区立 埠頭公園

「芝浦港南地区公園シリーズ」第14回目は埠頭公園です。
港区芝浦は、日本における南極探検の原点ともいえる場所です。
明治45（1912）年、白瀬矗隊長率いる南極探検隊が芝浦から「開南丸」で南極へと出航しました。
その栄光の歴史を伝えるため、埠頭公園には南極探検記念碑や、
探検隊の偉業を伝える様々なモニュメントが設置されています。

●探検記念碑と埠頭公園の魅力

公園内には、白瀬隊の快挙を刻んだ石碑、隊員たちの志と努力を伝える説明板、記念船「開南丸」の模した大型遊具、南極を象徴するペンギンのオブジェなど、歴史と遊びが融合した空間が広がっています。

また、同じ芝浦に本社を構えるNECネッツエスアイ株式会社では、社員が南極地域観測の中核機関である国立極地研究所に出向し、南極の昭和基地内に設置されている多目的衛星受信システムの運用・メンテナンスを行っています。

今回は、第65次南極地域観測隊として参加した同社の清水岬隊員と一緒に埠頭公園を訪れ、その歴史の重みと現代へつながる挑戦の精神を共に感じる機会となりました。

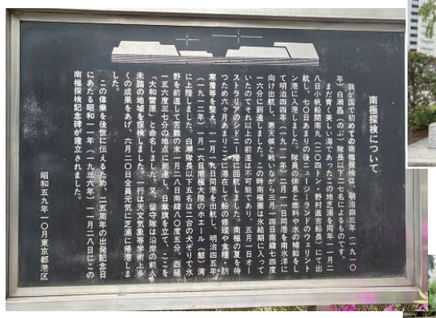




開南丸を模した遊具。滑り台で遊んだり、船長になった気分で舵を取ったりして遊べます

●歴史と未来をつなぐ場として

埠頭公園は、偉大な歴史を学び、未来の世代へ探検と挑戦の精神を伝える場です。港区芝浦から、南極観測の挑戦がこの地に息づいていることを感じてみませんか。



南極探検についての説明板



白瀬隊の石碑



海の生物をモチーフにした遊具



【所在地】港区海岸3-14-34



ペンギンのオブジェ

南極越冬隊員・清水岬隊員のコメント

明治45（1912）年に帰国した白瀬南極探検隊により、南極に関する多くの知識が日本にもたらされました。戦後、様々な方々の尽力により南極地域観測事業が発足し、今年で南極観測70周年となります。芝浦は白瀬南極探検隊の出発の地であり、我が国が初めて南極に出航した地です。その芝浦に設立された記念碑のある埠頭公園を訪れることで、歴史の重みや流れを再認識するとともに、観測隊として得た経験や知見を社会に還元していきたいという想いが強くなりました。



清水岬隊員（左）と筆者（右）

港区ベイエリア

イベントカレンダー

令和8（2026）年 8月 ～ 11月

※日時や内容が変更になることがありますので、必ず各施設の最新情報を確認してください。

乳幼児から楽しめる!

にじのはし幼稚園

☎03-5500-2577　ホームページ

●にじっこキッズ（未就園児の会）
日時：毎週火曜日に開催予定 10:00～12:00
※9/1、11/24を除く。
場所：にじのはし幼稚園



にじっこキッズのほかに、平日に絵本貸出を行っています。詳しくは、にじのはし幼稚園ホームページをご覧ください。

●幼稚園説明会「幼稚園ってどんなところ?」
日時：9/18（金） 15:00～15:30 受付14:50～
場所：にじのはし幼稚園

令和9年度入園希望の保護者向けに、公立幼稚園の保育や入園手続きなどについてお話しします。

●未就園児親子も集まれ!にじっこ運動会
日時：11/21（土） 9:00～11:45
場所：晴天時:お台場学園校庭　雨天時:お台場学園3階アリーナ

未就園児のプログラムがあります。詳しくは、にじのはし幼稚園ホームページをご確認ください。

乳幼児から楽しめる!

芝浦幼稚園

☎03-3452-0574　ホームページ

●園庭・たんけん広場開放
日時：平日 月曜日～金曜日 9:30～15:30
場所：芝浦幼稚園 園庭・たんけん広場



●地域の乳幼児親子対象 りんごちゃんくらぶ
日時：水曜日 9:30～11:00
場所：芝浦幼稚園 保育室、ホール、園庭など

詳しくは園までお問い合わせください。

乳幼児から楽しめる!

港南幼稚園

☎03-3471-7347　ホームページ

●未就園児の会 かもめっこデー
日時：毎週水曜日 10:30～12:00
場所：港南幼稚園 2階多目的室・園庭



園庭開放も行っています。日程など、ホームページをご確認ください。

年配の方にオススメ!

芝浦港南地区高齢者相談センター

☎03-3450-5905　ホームページ

●かいごカフェ&港南deオレンジカフェ
日時：8/14（金）・10/9（金） 14:00～15:15
場所：さんぽーと港南（港南区民協働スペース）



●かいごカフェ
日時：9/11（金）・11/13（金） 14:00～15:15
場所：さんぽーと港南（港南区民協働スペース）

●台場deオレンジカフェ&台場出張相談会
日時：9/1（火） 10:30～11:30
場所：台場ふれあい団らん室

●かいごカフェin台場&台場出張相談会
日時：11/24（火） 10:30～11:30
場所：台場ふれあい団らん室

どなたでも!

台場区民センター

☎03-5500-2355　ホームページ

●祝30周年 お台場夏祭り2026
日時：9/25（金）、9/26（土）
前夜祭 9/25（金） 16:00～21:00
本祭り 9/26（土） 13:00～21:00
場所：お台場レインボー公園



特設ステージでのパフォーマンス、みんなで踊ろう盆踊り、ゲームコーナー、ガラポン抽選会など（一部飲食ブースあり）

どなたでも!

一般財団法人ドリーム夜さ来い祭りグローバル振興財団

☎03-5796-2550　E-mail：info@dreamyosacoy.jp
詳細は http://www.dreamyosacoy.jp
または、右記の二次元コードからご覧ください

●第25回ドリーム夜さ来い祭り
日時：11/7（土） 時間は調整中
11/8（日） 時間は調整中
場所：お台場 自由の女神会場
（ゆりかもめ台場駅前）ほか複数会場
その他：雨天決行
※荒天、災害や新たな感染症などの状況により開催内容を変更、または中止する場合がございます。あらかじめご了承ください。



全国より踊り子約5,000名、観客約100万人の、東京でも最大規模を誇る祭り。
平成25（2013）年よりニューヨーク、シンガポールなど世界各国での開催普及も同時展開してきました。
東京アクアシンフォニーを背景に、プロジェクションマッピングとのコラボなど「10歩先」の東京の顔となる祭りへ進化していきます。